

平成25年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 温暖化対策課
 担当名: 総務・エコライフ推進担当
 内線: 3038 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B8	低炭素型ライフスタイル推進事業費			一般会計	総務費	環境費	環境保全推進費	地球温暖化対策推進費	
事業期間	平成17年度～	根拠法令	なし				戦略項目	09	新エネルギー埼玉モデルの構築
							分野施策	040202	低炭素な暮らしとまちづくりの推進
<p>1 事業の概要</p> <p>埼玉県における家庭部門のCO2排出量は1990年度と比較して55.4%増と増加の一途を辿っている。そこで、家庭におけるCO2削減を進めるとともに、広く県民に向けた普及啓発事業を実施する。</p> <p>経費節減による事務費等の減額 (1) 需用費等 1,331千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア エコライフDAYの推進(6~9、12~3月) 1,060千円</p> <p>イ 地球温暖化防止活動推進員の活動促進(通年) 1,787千円</p> <p>ウ さいたま環境賞表彰事業の実施(9~3月) 280千円</p> <p>エ ライフスタイルキャンペーンの実施(通年) 191千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 地域における温暖化対策普及啓発活動の担い手育成 地球温暖化防止活動推進員の研修を充実させ、各地域におけるより効果的な活動を促進する。</p> <p>イ 他団体との連携による普及啓発活動の実等施 NPO、県内企業等と連携し、それぞれのノウハウや強みを活かした普及広報活動を展開する。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア エコライフDAYへの参加者拡大(平成23年度年間120万人以上)</p> <p>イ 他の模範となる環境活動の表彰(過去の応募数559、受賞者数149)</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 市町村、県民、企業、NPO、スポーツクラブ等との連携による事業を実施している。</p> <p>ア 市町村、埼玉県地球温暖化防止活動推進員、企業、県民団体等との連携によるエコライフDAYの実施</p> <p>イ 埼玉県地球温暖化防止活動推進員による地域での取組の支援</p> <p>ウ 企業、NPOとの共同による表彰の実施</p> <p>エ 新たな広報ツールとしてのfacebookの活用(平成24年度)</p> <p>(5) 補正要求の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 経費節減による減額 1,330千円(1 エコライフDAYの推進: 需用費、役務費(留保含む)、4 ライフスタイルキャンペーンの実施: 需用費、役務費(留保含む)、使賃料、委託料) 留保分減額 1千円(4 ライフスタイルキャンペーンの実施: 旅費) 					
<p>2 事業主体及び負担区分 (県10/10)</p>									
<p>3 地方財政措置の状況 普通交付税(包括算定経費) (区分) 企画費 (細目) 環境保全対策費 (細目) 環境保全対策費 (積算内容) 地域の実情に応じた環境保全対策</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 人件費 9,500千円×1人=9,500千円</p>									
財 源 内 訳									
予算額		繰入金						一般財源	補正後の 予算額
決定額	1,331	1,330					1	3,318	
現計額	4,649	4,537					112		